

障害をめぐる〈共生の文化〉に関する実証的研究

国際言語文化学科 奈倉 京子

●連絡先 TEL: 054-264-5346
E-Mail: nagura@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード 日本と中国、障害、スペシャルオリンピックス (SON), 共生の文化、ケアのコミュニティ、カルティベーション (cultivation)、フィールドワーク、就労継続支援B型



本研究は、障害者権利運動と連携しながら障害者の社会的包摂を指向するのとは異なる視点に立ち、様々な差異をもつ人々が、官許の統治の論理に巻き込まれず、かつ当事者（障害者およびその家族）の主体性に過度に頼らない共生論理を如何にして形成できるかを検討する。具体的には、「スペシャルオリンピックス静岡」を対象に、言語的な意思表示が困難な中重度の知的障害をもつ成人と支援者、介助者等多様な存在者たちが、家族を超えた他者とつながる「中間的領域／組織」における相互行為、協働作業を通して、「健常者（マジョリティ）／障害者（マイノリティ）」という二項対立の壁を乗り越える「共生の文化」を生み出すことは如何にして可能かということ、参与観察により探究する。

これまで障害者の共生は、主流社会に何らかのかたちで「統合」されるか、それに対して自己主張をするかで実現できると考えられてきた。これに対し本研究では、「カルティベーション (cultivation、耕すこと)」を手がかりに、日常のミクロな社会関係における社会的価値をつくりかえることで生まれる「共生の文化」を探究する。



アピールポイント

奈倉京子『中国の知的障害者とその家族—「新しい社会性」のエスノグラフィー』東京：東方書店、2023年2月。